

3月号 自立・自助では生きていけない 労働者にとって社会保障とは何か

読み合わせ学習会をしましょう！

資本主義の思想と社会保障

そもそも社会保障とは、労働者とその家族を守るためのもの
社会保障があってはじめて労働者は労働者階級になれる

消費税によらなくても社会保障の財源はある

理論講座 労働者のための基礎経済学

学習の友とわたし

香川県議会議員 白川 容子

私は「消費税をなくす香川の会」の一員としても活動していますが、今年4月からの8%への消費税増税とさらなる増税計画に強い怒りでいっぱいです。最近、政府が「消費税増税したら社会保障や雇用状況がよくなる」という内容のTVコマーシャルを流しているのをご存じですか？一体いくらかけてあのCMを流しているのかと思うと怒りのボルテージはMAXです。

そんなカッカする私の頭を理性的な闘争に導いてくれるのが「学習の友」です。この間、消費税問題についてわかりやすくコンパクトにまとめた連載が連打されています。「苦しい生活の中でなぜ消費税増税か〜その背景に日米安保」(2013年10月号)や、最近では湖東先生の「消費税増税なんて冗談じゃないぜイ」の連載が、消費税を根本的に知ると

めに非常に優れた内容となっています。特に湖東先生の連載の「第3回上下」(2014年2~3月号)は大企業がいかにして消費税の還付金で大もうけを上げているのかを実際の裁判の判決文を基にしてひも解いていて実感を持って受け止めることができました。知っているつもりで読んでいても、実は知らないことが多くて新鮮な驚きでいっぱいです。

安倍政権は消費税の増税と一体に社会保障の大改悪を決めて進めています。増税と社会保障の切り捨てが、今以上に国民生活を危機的状況へと追い詰めていくのは誰の目から見ても明らかです。増税も社会保障の切り捨てもしなくてもすむ道があることを「学習の友」でしっかりと身につけながら、闘いをさらに大きくしていきたいと頑張っています。

あしたの風では「学習の友と私」を掲載いたします。学習の友を購読していただいている方々に、学習の友との関わりをお聞きます。これから原稿依頼がありましたら、どうぞよろしく願いいたします。

学習の友
3月号学習会

◎日時 3月18日(火)18時00分より

◎場所 学習協事務所にて

※ぜひ、多数のご参加をお待ちしています。

